

《専門教育科目 専門応用科目》

科目名	道徳				
担当者氏名	中岡 郁恵				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	2年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 専門応用-2 豊かな人間性の醸成 ○ 専門応用-3 コミュニケーション能力の向上 ○ 専門応用-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

1. 道徳教育の意義や理論を踏まえ歴史的背景、自己と他者のかかわりの在り方等の理解を深める。2. 「学校全体を通して行なう道徳教育」の多様な視点、多角的アプローチを、グループワーク・学習指導案の作成等を通して考え、議論する。3. リフレクションにより、自らの考えを主体的に深める。

《テキスト》

適宜、資料を配付する。

《参考図書》

小学校学習指導要領解説「特別の教科 道徳編」
その他の参考資料・文献は、講義内で適宜紹介する。

《授業の到達目標》

1. 道徳の本質を踏まえて「学校の教育活動全体を通じて行なう道徳教育」や人間関係形成のあり方について理解を深め、多様な視点・多角的アプローチによる実践の基礎力を身につけることができる。2. 教師である前に、ひとりの人間として「教育」のあり方や「道徳教育」について内省し考えることができる。

《授業時間外学習》

講義内容を振り返り、自らの考えを深める時間を主体的にもつ。次回のテーマ・内容について積極的に調べておく。

《成績評価の方法》

講義取り組み姿勢・提出物（振り返り・小レポート等）50%
指導案の提出、模擬授業スピーチ
20% まとめの筆記試験
30%

《備考（教員経験の有無）》

この教科は小学校・中学校の教員経験に基づき構成しています。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション	授業概要・進め方・評価、道徳と道徳教育
2	道徳教育の歴史	戦前・戦後の道徳教育の変遷、教科化の背景
3	道徳教育の土壌	「他者の靴を履く」－Empathyと対話、“理解する”ということ
4	考え、議論する 1	「ハインツのジレンマ」－モラルジレンマの課題
5		2 「親と子の問い」－自己と他者のかかわりのあり方
6	道徳教育の視点と実践 1	情報モラルのあり方とトレーニング
7		2 インクルーシブ「ソーシャル・ビュー体験」の試み
8		3 生徒指導－「教育臨床」の視点
9		4 多文化共生－「ひょうたん島問題」ワークの試み
10	学校全体の道徳教育活動	学校全体で取り組む教育活動としての道徳教育の実践
11	教師のあり方	いじめ問題と教師のあり方
12	授業方法と実践 1	道徳授業指導案作成の方法と手順
13		2 模擬授業－指導案スピーチ（個人）・提出
14	海外の道徳道徳教育	海外の道徳的アプローチのあり方から考える
15	まとめ	まとめ